

いい声 いい顔 いい心

主幹だより No.5

文責：城

算数少人数学習が本格化

4・5・6年の少人数学習が始まりました。学年10人程度で行っています。子ども達には「じっくり取り組んで、学力を身に付けるコースだよ」「分からないときには『分からない』と言っていいんだから」と話をしています。「ここ、分かりません」と言う子と、まだ、言えない子がいます。分からないところをみんなで考えたり、教師と1対1で考えたりするのが、少人数の良さなので、「言える雰囲気づくり」をがんばっていきます。

※少人数学習は、少人数でじっくり取り組むことで、学習効果を上げるものです。学力の定着・向上のために行うものなので、少人数教室に行くことをマイナスに捉えるのは間違いです。そんな見方をする人がいたなら、正しい見方ができるように職員みんなで指導していきましょう。



5点でも10点でも上がるように

4年生算数の最初の単元「角とその大きさ」は、少人数ではなく、TTで4-1に入っていました。カラーのテスト（業者取り寄せ）が4/26に行われました。前日のたしかめで、もっと定着させたいという子もいました。家庭訪問期間中で昼休みもない中、私がとった手段は…朝でした。8時から20分程度でしたが、確認をしました。「5点でも10点でもテストの点数が上がってほしい」との思いでした。私：「ちょっと（復習を）やった分、テストはできた？」〇〇さん：「・・・（苦笑いで首をかしげる）」△△さん：「はい」十分な指導・支援ではなかったかもしれませんが、見た感じ15点くらいは上がっているようでした。昨日の自分より少しでも前進した子どもたちの姿がうれしかったです。これからも「ちょっとでも上がるように」を心がけていきたいと思ったところでした。



BASIC 次の重点指導事項

昇降口の靴ならばは、きちんとできる子がずいぶん増えました。まだ、全クラス100%とはいきません。引き続き指導をお願いします。

次に力を入れたいことについてお知らせします。

- 1 下校時の挨拶
- 2 シャツを中に入れる
- 3 上靴のかかとを踏まない
- 4 返事

できている子もいますが、もっとよくしたい項目です。各学年・学級での指導・日常生活での声掛けをお願いします。

～ティータイム～

「習慣」

5年の算数に行った。この学年に授業をするのは久しぶりだ。うきうきしている自分がいる。この日は鹿子木先生が不在のため、少人数ではなく、5-2の一斉授業だった。私：「お久しぶり。どぎゃんね？5年は」などの話から始まった。私：「理科は頑張りよとだろね？」子どもたち：「はい」昨年度、この学年の理科を担当していただけに気になる。

そうこうしながら算数の「体積」の学習を楽しく終えた。キーンコーンコーンコーン…日直の子：「起立」（はい）「気をつけ」（はい）「これで4時間目理科の学習を終わります」（ありがとうございました）…違和感ないんかいっ!!算数の授業だったのに…習慣ってこわい。5年の中では、城＝理科の先生のイメージなんだろうなあ。

ちなみに私は社会が専門だ。歴史が好きだが、大学はまわされて地理専攻。でも高校は理系という経歴である。（社会 or 数学どちらかの教員になろうと思っていた）

